

第 2 期富山県教育大綱を踏まえ、
来年度に策定する富山県教育振興基本計画
に盛り込む「主な施策」(案)

目次

1	基本方針1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援 (施策の方向性)	
	① 子どもの健全な育成と地域の教育力の充実	1
	② 家庭の教育力の向上	2
	③ 児童等の安全の確保	3
2	基本方針2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進 (施策の方向性)	
	① 確かな学力の育成	4
	② ICTを活用した教育の推進	5
	③ 社会で生きる実践的な力の育成	6
	④ グローバル社会で活躍できる人材の育成	8
	⑤ 教員の資質向上、働き方改革の推進	9
3	基本方針3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進 (施策の方向性)	
	① 豊かな心と健やかな体の育成	10
	② 少人数教育と校種間連携の推進	11
	③ 特別支援教育の充実	12
	④ 人権や思いやりの心を大切にする教育の推進	13
4	基本方針4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実 (施策の方向性)	
	① 県立学校の教育環境の整備・充実	14
	② 私立学校教育の振興	15
	③ 大学教育・学術研究の振興	16
5	基本方針5 生涯を通じた学びの推進 (施策の方向性)	
	① 多様な学習活動の支援	17
	② 県民の学習を支える基盤整備	18
	③ キャリアを磨く実践的な学びの推進	19
6	基本方針6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり (施策の方向性)	
	① 学校におけるふるさと学習の推進	20
	② 家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興	21
	③ 高志の国文学館を拠点とするふるさと文学の振興	22
	④ 伝統文化の保存・継承	23

7	基本方針7 次世代を担う子どもの文化活動の推進 (施策の方向性)	
	① 子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進	24
	② 学校における文化活動の充実	25
	③ 文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興	26
8	基本方針8 スポーツに親しむ環境づくりの推進 (施策の方向性)	
	① 県民がスポーツに親しむ環境づくり	27
	② 学校等における体育・スポーツの充実	28
	③ 全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成	29
	④ スポーツを支える人材の育成と活用	30
	⑤ プロスポーツや企業と連携した地域の活性化	31
9	基本方針9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生 (施策の方向性)	
	① 地域を支える人材の育成	32
	② 若者の県内定着の促進	34
	③ 富山ならではの教育の推進	35

基本方針 1 学校、家庭、地域で取り組む子どもの成長支援

方向性①：子どもの健全な育成と地域の教育力の充実

【主な施策】

- ・「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、家庭、地域、企業で道徳性や社会性を育む教育の充実
- ・地域の社会教育施設や企業等と学校との連携・協働を進め、多様性・柔軟性のあるチームによる学校の実現
- ・スマートフォンなどの学習での適切な活用方法と情報モラルを学ぶ教育の充実
- ・スマートフォンなどの適切な利用を呼びかけるPTA活動への支援
- ・青少年健全育成運動の推進など有害環境対策の推進と非行や児童虐待に対する関係機関の連携促進
- ・地域人材の協力を得て行う体験活動や地域住民との交流活動などを行う放課後子ども教室や土曜学習等の推進
- ・児童館等の整備促進による魅力ある子どもの遊び場づくりと多様な交流、体験等の活動を展開できる遊びのネットワークづくり
- ・ふるさと学習や自然体験活動を通じた地域ぐるみでの心豊かな子どもの育成
- ・新型コロナウイルス感染防止を図りつつ、豊かな自然の中での集団宿泊生活や自然体験活動を通じた心身ともに健全な青少年の育成
- ・県の奨学金制度などを活用した高校生への修学支援
- ・返済不要の給付型奨学金等国の修学支援新制度や各種奨学金についての説明会による周知活動等の実施
- ・スクールソーシャルワーカー等にも奨学金等の情報を提供し、家庭の実態に応じた周知の取組みの実施
- ・スクールソーシャルワーカーなどの活用により、経済的な制約を受けている児童生徒への支援
- ・少人数教育の推進や家庭学習の仕方の指導、放課後の補習など児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かで丁寧な指導の推進
- ・希望する児童生徒に対して、放課後や夏休み等を利用した教科の補充的な指導を行う中学校放課後学習支援などの学習機会の充実
- ・教員OB等の学習支援ボランティアがひとり親家庭の児童生徒に対し、塾形式で行う学習支援の推進

方向性②：家庭の教育力の向上

【主な施策】

- ・親が自らの役割や子どもとのかかわり方を学ぶ「親学び講座」の推進
- ・企業における家庭教育講座の開催
- ・家庭教育に関する情報紙「家庭教育かわら版 ほっとタイムス」の作成と配布
- ・電話やカウンセリングなどによる、家庭教育や子育て支援に関する相談体制の充実
- ・安心して小学校に入学できるよう、『わくわく・きときと』接続ガイド」の活用や保護者支援リーフレット「きときと1年生」の作成と配布
- ・家庭、地域、学校における子どもの自主的な読書活動の推進
- ・早寝早起きや朝ご飯をしっかりと食べるなど、基本的な生活習慣の定着を目指す運動の推進
- ・「健康づくりノート」を活用した健康教育の推進

方向性③：児童等の安全の確保

【主な施策】

- ・実践的な防災教育の推進やその普及啓発による学校の防災機能の強化
- ・学校安全パトロール隊など、地域で子どもを守り育てる活動への支援
- ・児童生徒等の危険回避能力を向上させる実践的な安全教育
- ・学校施設等の点検整備や防犯訓練など学校への不審者の侵入防止対策
- ・小・中学校、高校、特別支援学校、県立大学等における非構造部材等の耐震性の確保
- ・緊急時に児童生徒の生命を守るため、AED（自動体外式除細動器）を活用した講習会を実施するなど、教職員の救急蘇生の知識・技能習得の推進
- ・通学路等の危険箇所の確認など安全点検の実施
- ・児童等の危険回避能力を高めるため、犯罪機会論に基づく地域安全マップの作成の推進
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、基本的な感染症対策のほか、地域の感染状況を踏まえた学習内容や活動内容の工夫など、「新しい生活様式」による学校教育活動の推進

基本方針2 子どもの可能性を引き出し、才能や個性を伸ばす教育の推進

方向性①：確かな学力の育成

【主な施策】

- ・とやま型学力向上総合支援事業等による確かな学力の育成
- ・「学び合い」や「体験」を重視した主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を進め、知識や技能を活用する力や知的好奇心、探究心を育み、課題発見・解決能力を育成する学習（プロジェクト学習（PBL）など）の推進
- ・モデル校（中・高等学校）によるプロジェクト学習の実践研究、成果等の検証
- ・プロジェクト学習に関する中・高合同研修会等の実施や事例等の周知
- ・新学習指導要領や大学入試改革にも対応できる探究的・科学的な思考力を高める取組みの推進
- ・望ましい学習習慣や生活習慣の定着に向け、学校、家庭、地域が連携した取組みの推進
- ・「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」を活用し、富山の自然等を通して科学的な見方や考え方を育む教育の推進
- ・学校図書館を活用した教育の充実
- ・とやま科学オリンピックや探究科学科における探究的学習、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の成果の普及、国際科学技術コンテストへの参加促進など、科学に対する関心を高め、科学的才能や論理的思考力、課題発見・解決能力などを伸ばす教育の推進

方向性②：ICTを活用した教育の推進

【主な施策】

- ・ G I G Aスクール構想実現による小中学校における1人1台端末整備に伴い、児童生徒の発達段階に応じた効果的な活用方法に関する研修の実施
- ・ 高等学校及び特別支援学校高等部の生徒への1人1台タブレット端末の配備
- ・ 高速インターネット回線や校内無線LANエリアの拡充（特別教室や職業系学科の実習室等）等によるネットワーク基盤の整備
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大や自然災害等による臨時休業に備えた遠隔・オンライン教育の実施体制の整備
- ・ 遠隔・オンライン教育における児童生徒の学習意欲を高める指導方法の研究・実践
- ・ 各教科の授業と、学校行事や生徒との面談などの授業以外におけるタブレット端末の利活用ガイドブックの作成を行うなど、平常時におけるオンライン教育のあり方の研究・推進
- ・ デジタル教科書やタブレット端末にインストールして活用できる効果的な学習用ソフトウェアの研究・活用
- ・ 対面指導で行うべきものと、遠隔・オンライン教育で行うことができるものについて整理・分析
- ・ 教員へのタブレット端末の配備による校内業務の効率化・省力化の推進
- ・ 各教科の学びを深め、つなぐためのツールとしてのタブレット端末の活用事例の紹介や、プログラミング教育に関する指導方法について、教職員研修をオンラインでの開催も含め、効果的・効率的に実施
- ・ タブレット端末を家庭に持ち帰って自宅学習で活用できるよう、家庭でも繋がる通信環境の整備や情報セキュリティの保護、情報モラル教育の実践
- ・ 学校で学びたくても学べない児童生徒（病気療養 不登校など）への遠隔・オンライン教育の活用
- ・ タブレット端末を活用した外国人児童生徒の学びの支援
- ・ 教育委員会内に教育CIOやアドバイザー、関係室課等で構成する教育環境のデジタル化を推進するための会議の設置
- ・ 校務のICT化による学習指導や生徒指導等の質の向上、学級・学校運営の改善

方向性③：社会で生きる実践的な力の育成

【主な施策】

- ・ 様々な職業に関する知見を高め、望ましい職業観や勤労観等を身につけさせる幼児期から高校教育までの体系的・系統的なキャリア教育の推進、主体的な職業選択の能力や将来の生き方をより深く考え行動する態度などの育成
- ・ 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」や地域での体験活動、ボランティア活動など、生活習慣や規範意識、主体的に社会へ参画する力、社会に貢献する意欲や態度、道徳性や社会性を育む教育の推進
- ・ 「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」により、高校におけるインターンシップや企業経営者等による講演など、職業観や勤労観を育む職業教育プログラムの推進
- ・ 普通学科において、大学等の専門機関で実施するアカデミック・インターンシップの充実
- ・ 県内オンリーワン企業や産業観光地などを巡り、見学及び実技体験を行うことにより、県内企業理解を深め、地域を支え、富山で活躍できる人材の育成
- ・ 産業界との連携によるキャリア教育プログラムの実施（キャリア講演会、高校生サマーセミナー等）
- ・ 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたこともあり、中学生段階から社会事象や法律・政治に関する関心を高めるとともに、政治的リテラシーを高める教育の推進
- ・ 成年年齢引下げを見据えた実践的な消費者教育の推進
- ・ キャリア教育アドバイザー等の外部人材や就職支援教員を活用したキャリア教育の推進、県内求人の開拓、地元企業の情報提供や見学・体験等による高校生の地元企業への理解の促進
- ・ 中学校における企業等と連携しての富山の産業を知り、ものづくりの楽しさを体感する機会の充実
- ・ 富山で生活する良さや働く良さなど、富山の魅力を学び、自らの生き方を考えさせるキャリア教育やライフプラン教育の推進
- ・ 小学校から高等学校までを通じ、「キャリア・パスポートのすすめ」「キャリア・パスポートの関連資料」やライフプラン副読本等を活用し、自身の変容や成長を自己評価する学習活動の充実
- ・ 職業系専門学科における専門教育の推進や施設・設備の計画的な更新
- ・ 工業高校において、ものづくり学の推進や産業界との連携による技能講習、伝統工芸の継承、コンテスト等の充実による本県のものづくり産業を支える人材の育成

- ・商業高校において、地域の資源を活用した商品開発や販売実習などの起業家精神を育む取組みや農業高校や水産系学科での6次産業化に向けた取組み、職業資格の取得やコンクール等への挑戦など、自らが学ぶ意欲を持ち、実社会で実践する力やコミュニケーション能力を高める教育の推進による県内産業を支える人材の育成

方向性④：グローバル社会で活躍できる人材の育成

【主な施策】

- ・ 探究力、課題解決能力、コミュニケーション能力を育成するための主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
- ・ 小・中・高校を通して一貫性のある英語教育の推進
- ・ 小学校における英語の教科化に対応するため、英語専科教員の配置や英語教育推進リーダーを活用した研修の実施
- ・ 小学校教員の英語指導力の向上や新学習指導要領の趣旨を生かした授業に対応できる英語教員の指導力向上を図る研修の実施
- ・ CAN-DOリストに基づいた中学校、高校での英語による授業の実施や高校における英語プレゼンテーションコンテスト、英語ディベート大会、外部検定試験などの活用によるグローバルな時代に対応した英語コミュニケーション能力の向上
- ・ とやまの高校生留学促進事業の実施などによる高校生の海外留学の支援
- ・ 高校での生徒海外派遣研修を支援し、国際性を身につけ、将来の富山を支える人材の育成
- ・ 「国際バカロレア」の導入について現状を把握し、対応の検討
- ・ とやまグローバルハイスクールの指定による高校生の海外有名大学等での研修の充実
- ・ 「高校生のためのふるさと富山」や富山を英語で表現する英語教材の活用など、世界に向けてふるさと富山を発信する力を育成する教育の推進

方向性⑤：教員の資質向上、働き方改革の推進

【主な施策】

- ・教職員のキャリアステージと学校教育への課題に対応した教職員研修・校内研修・OJTの充実
- ・平成 28 年度から本県で実施されている全国の教員を対象とした（独）教職員支援機構の研修との連携による本県教員の一層の資質向上
- ・管理職研修の充実と学校のマネジメント機能の強化
- ・特別支援教育に関する教員研修の充実
- ・富山大学教職大学院への現職教員派遣による実践的な指導力の育成
- ・デジタル教材活用や情報モラル・セキュリティ指導などのための情報教育研修会等の利用による教員のICT活用指導力の向上
- ・富山型教員養成プログラム等による教員養成支援と優れた教員の確保・今後の大量退職を見据えた教員の計画的な採用と採用者数の平準化
- ・教員UIJ ターンセミナーや教員養成講座の実施による優れた教員の確保
- ・「とやま学校働き方改革推進プラン」に基づき、教員が児童生徒と向き合いやすい環境整備の推進
- ・教職員の業務負担軽減に効果的な統合型校務支援システムの整備
- ・地域の社会教育施設や企業等と学校との連携・協働を進め、多様性・柔軟性のあるチームによる学校の実現（再掲 1-①）
- ・部活動指導員やスクール・サポート・スタッフ、スクールロイヤー等の外部人材のさらなる活用
- ・合理的で効率的な部活動の推進と休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究を行うとともに、実践研究で得られた成果と課題を県内 15 市町村で共有し、協議する検討委員会等の開催

基本方針3 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進

方向性①：豊かな心と健やかな体の育成

【主な施策】

- ・「いのちのメッセージカード」の活用や地域の人材等による「いのちの授業」「いのちの教育講演会」等による「いのちの教育」の推進
- ・小・中・高校生と乳幼児とのふれあい体験や産婦人科医等による特別授業など、発達段階に応じたライフプラン教育の推進
- ・道徳教育推進講演会による道徳教育の推進と「特別の教科 道徳」の指導
- ・災害や感染症への対応などを通じて、命を守り、命の尊さを学ぶ教育の推進
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー等の専門家の活用による、いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応のための相談体制の充実
- ・スクールロイヤーの活用事例を市町村や学校に提示するなど活用の促進
- ・学校や家庭と民生委員・児童委員、児童相談所等との連携協力による児童虐待やいじめ、不登校等の早期発見・早期対応
- ・富山県いじめ防止対策推進委員会等におけるいじめ対策の検討
- ・「元気っ子育成計画」（幼、小中高）による運動習慣の定着と体力向上
- ・学校における栄養教諭を中核とした食に関する指導など、子どもの望ましい食習慣の定着と健康教育の推進
- ・児童会や生徒会が中心となって児童生徒自身がネットルールを作る「学校ネットルールづくり」の推進
- ・児童生徒が悩みや苦痛を感じたとき、適切な援助希求ができるようにする「SOSの出し方に関する教育」の推進
- ・「いじめ対応ハンドブック」を活用した地域ぐるみでのいじめの未然防止や早期発見・早期対応
- ・児童生徒のいじめ相談などに24時間体制で対応する「24時間いじめ相談電話」の設置
- ・ネット監視員が児童生徒のインターネット上の不適切な書き込みを監視する「ネットパトロール事業」の実施
- ・児童生徒の性的な暴力を含む性に関わる問題について、学校全体で取り組む体制の充実
- ・学校で学びたくても学べない児童生徒（病気療養 不登校など）への遠隔・オンライン教育の活用（再掲2-②）

方向性②：少人数教育と校種間連携の推進

【主な施策】

- ・少人数指導と少人数学級それぞれの良さを活かした少人数教育の推進
- ・少人数学級の対象学年の年次進行を図るなど教育現場の実情に沿った少人数学級の推進
- ・小学校専科教員や中1学級支援、学びサポート講師などによるきめ細かな学習・生活指導の実施
- ・幼稚園教諭、保育所の保育士及び認定こども園の保育教諭の資質向上のための研修の推進
- ・安心して小学校に入学できるよう、保護者支援リーフレット「きときと1年生」の作成と配布（再掲1-②）
- ・「中学生理解のために（保護者用）」の作成や小・中教員による合同研修会の実施
- ・中学3年生のためのオープンハイスクールや中高の教員による指導者合同研修会・連絡会の実施
- ・大学教員や大学生等が関わる専門性の高い特別授業など、高大連携の推進
- ・幼児教育の質の向上を図るための関係機関との連携・体制づくり
- ・園内研修の充実を図るための幼児教育センターによる幼児教育施設訪問研修の実施
- ・幼児教育施設訪問研修の充実に向けての推進リーダー等の育成
- ・『『わくわく・きときと』接続ガイド』の作成と活用
- ・幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の指導者が共に学ぶ地区別幼児教育・小学校教育接続研修会等の実施
- ・幼児教育・小学校教育の円滑な接続を目指した保育者と小学校教員の合同の研修会等の実施

方向性③：特別支援教育の充実

【主な施策】

- ・富山版「特別支援教育将来構想会議（仮称）」において、検討・策定する将来構想に基づいた特別支援教育の推進
- ・「個別の教育支援計画」の作成・活用など、発達障害を含む障害のある子どものニーズに応じた教育の推進
- ・特別支援学校のセンター的機能の充実や小中学校巡回指導員等専門的人材配置による幼・保・小・中・高校等の特別支援教育を支援する仕組みの整備
- ・小・中・高校の教員を対象とする特別支援学校での体験研修をはじめ、教員のキャリアステージに応じた特別支援教育の専門性向上研修の実施
- ・保健、医療、福祉、保育、教育等が連携した早期からの子育て支援や小中学校巡回指導員の配置などによる相談体制の充実
- ・交流及び共同学習の充実により、障害のある子どもと障害のない子どもが認め合い、尊重する心の育成
- ・特別支援教育担当教員の指導力の向上と免許状保有率向上に向けた取り組みの推進
- ・児童生徒への1人1台タブレット端末配備による障害に応じた指導・個別最適化された学びの充実
- ・特別支援教育に関するタブレット端末の活用も含めた教員研修の充実
- ・小・中・高校の教員を対象とする特別支援学校での体験研修をはじめ、教員のキャリアステージに応じた特別支援教育の専門性向上研修の推進
- ・特別支援学校就労応援コーディネーターや障害者就労定着サポーターの配置など、高等特別支援学校等での障害の状態に応じた就労支援

方向性④：人権や思いやりの心を大切にする教育の推進

【主な施策】

- ・人権を尊重し、思いやりの心を大切にする意識を高め、いじめ等を生まない学校づくりの推進
- ・「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」など、生活習慣や規範意識、社会に貢献する意欲や態度、道徳性や社会性を育む教育の充実（再掲 1-①）
- ・自然体験学習等による命を大切にする心や思いやりの心の育成
- ・教科や道徳、総合的な学習の時間等を通じた人権を尊重する心と態度、自分の考えを客観的に振り返る力の育成
- ・学校や社会教育の場において、冊子「人権教育推進のために」等を活用した人権についての正しい理解を啓発するための活動の推進
- ・研究指定校における人権教育に関する指導方法の改善・充実とその成果の普及
- ・いのちの先生の派遣や「いのちの教育講演会」、人権に関する研修会等による教職員の人権意識の向上
- ・富山県いじめ防止対策推進委員会等において、いじめ対策の検討（再掲 3-①）
- ・学校における性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応
- ・児童会や生徒会が中心となって児童生徒自身がネットルールを作る「学校ネットルールづくり」の推進（再掲 3-①）
- ・ネット監視員が児童生徒のインターネット上の不適切な書き込みを監視する「ネットパトロール事業」の実施（再掲 3-①）

基本方針 4 社会の変化と多様なニーズに対応した高校や大学等の教育環境の充実

方向性①：県立学校の教育環境の整備・充実

【主な施策】

- ・各県立学校が生徒や学校の実態等に応じて策定した中長期ビジョン実現のための実効性のある取組みの推進
- ・新学習指導要領に対応し各高等学校がプロジェクト学習等を進める「令和の魅力ある学校づくり推進事業」の実施
- ・教育の改善と充実を図るカリキュラム・マネジメントの推進と、社会に開かれた教育課程を実現するための実効性のある取組みの推進
- ・特別支援学校のセンター的機能の充実や小中学校巡回指導員などの専門的人材配置による幼・保・小・中・高校等の特別支援教育を支援する仕組みの整備（再掲 3-③）
- ・特別支援学校における社会的・職業的自立を目指した就労支援体制の整備とキャリア教育の推進
- ・県の奨学金制度などを活用した高校生への修学支援（再掲 1-①）
- ・返済不要の給付型奨学金等国の修学支援新制度や各種奨学金についての説明会による周知活動等の実施（再掲 1-①）
- ・スクールソーシャルワーカー等にも奨学金等の情報を提供し、家庭の実態に応じた周知の取組みの実施（再掲 1-①）
- ・学校施設の長寿命化計画（個別施設計画）に基づき、計画的な施設整備の推進
- ・タブレット端末を活用した外国人児童生徒の学びの支援

方向性②：私立学校教育の振興

【主な施策】

- ・創意と工夫を凝らした特色ある教育に対する支援
- ・魅力ある教育環境を整えるための施設・設備整備に対する支援
- ・生徒の就学機会の確保を図るための授業料及び入学料、施設整備費減免に対する支援
- ・教科書、教材費など生徒の授業料以外の教育費負担の軽減に対する支援
- ・教育水準の維持向上、保護者負担の軽減、学校経営の安定化を図るため、私立学校に対する経常費助成

方向性③：大学教育・学術研究の振興

【主な施策】

- ・教育水準の向上や学術研究機能の強化など、高等教育機関の魅力向上への支援
- ・県内大学生が海外留学や海外派遣研修への参加など充実した学生生活を送るための支援体制の充実
- ・県内高等教育機関が相互に連携して実施する大学コンソーシアム富山の取組みの支援
- ・県内高等教育機関や産業界、市町村等との連携協力により、雇用創出や新規学卒者の地元定着を推進
- ・県と高等教育機関との連携協力により、地域課題を解決できる人材の育成や雇用の促進等地域活性化に向けた幅広い分野での地域貢献事業を推進
- ・県内高等教育機関へのデータサイエンス教育の普及・推進、産学官連携によるデータの利活用
- ・県立大学におけるデジタル化の進展に対応した人材の育成、工学部学科の定員拡充、施設・設備の充実
- ・県立大学における専門看護師や保健師・助産師を養成するための大学院・専攻科の設置の検討
- ・外国人留学生の誘致活動や奨学金等の経済的支援、県内企業への就職支援等の充実により、優秀な留学生の県内高等教育機関への受入れ拡大の促進

基本方針5 生涯を通じた学びの推進

方向性①：多様な学習活動の支援

【主な施策】

- ・ 県民生涯学習カレッジにおいて、ふるさと学習や地域の課題等をテーマとした講座の開催など、学習機会の提供
- ・ 富山県美術館や高志の国文学館、埋蔵文化財センター等を活用した学習機会の充実
- ・ 県公民館連合会など社会教育団体の支援や地域活動における教員OB等の活用
- ・ 県立図書館における郷土資料等の収集・提供や市町村図書館等との連携等を通じた県民の多様な学びへの支援
- ・ 県民生涯学習カレッジにおいて、災害や新型コロナウイルス感染症等をテーマとした講座の開催
- ・ 県民生涯学習カレッジにおいて、オンライン講座の導入により障害者等への学習機会の支援
- ・ 障害のある児童生徒等への、生涯学習につながる多様なスポーツや文化芸術活動に親しむ体験機会や卒業後の社会教育や学習機会に関する情報の提供

方向性②：県民の学習を支える基盤整備

【主な施策】

- ・ 県民生涯学習カレッジ及び各地区センターなど、学びの拠点の整備
- ・ とやま学遊ネットによる学習情報、人材情報、公民館情報等の提供
- ・ 県民生涯学習カレッジにおいて、オンライン講座の導入
- ・ 県民生涯学習カレッジにおいて、地域の担い手となる人材の育成や学習者の交流・活躍の場の提供
- ・ 公民館毎のWEBサイトを活用した地域・ふるさと情報発信への支援
- ・ 県民生涯学習カレッジの「自遊塾」など、学びのボランティアの育成
- ・ 学習の成果を活かしたボランティア活動や公民館等での地域活動の推進
- ・ 学習成果の還元、活用等による地域コミュニティ活性化の推進
- ・ 県民生涯学習カレッジの県内4地区の連絡協議会等を通じた市町村・大学・民間事業者との連携及び県民生涯学習カレッジの先導的取組みの普及・啓発
- ・ 多様化する県民の学習ニーズに対応するための、図書館のレファレンス機能の充実

方向性③：キャリアを磨く実践的な学びの推進

【主な施策】

- ・ 専修学校等が行う社会のニーズに対応した実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援
- ・ 高等教育機関が行う社会人を対象とした公開講座の開催や高度かつ専門的な教育など、リカレント教育への支援及びオンラインリカレント教育の推進
- ・ 県内高等教育機関が行う社会人向けセミナーや県民開放授業の充実
- ・ 煌めく女性リーダー塾、ロールモデルとなる先輩女性と女子学生との交流会などの開催
- ・ 高等教育機関、市町村等の生涯学習実施機関との連携の促進
- ・ 産学官の連携によるリカレント教育の推進

基本方針6 ふるさとを学び楽しむ環境づくり

方向性①：学校におけるふるさと学習の推進

【主な施策】

- ・小・中学校において、県が作成した「ふるさととやまの人物ものがたり」や市町村が作成した郷土学習教材を活用し、先人の偉業や夢、志などを学ぶ教育の推進
- ・県立高校において、県が作成した補助教材「高校生のためのふるさと富山」を用いた郷土史・日本史学習の実施
- ・フィールドワークや身近な地域調査、自然体験活動など、実地で学ぶ学習の推進
- ・「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」を活用し、富山の自然等を通して科学的な見方や考え方を育む教育の推進(再掲 2-①)
- ・立山カルデラ砂防博物館やイタイタイ病資料館等の博物館、図書館、美術館を活用したふるさと学習の推進
- ・高校生の海外派遣等の国際交流活動を通じた異文化理解の促進
- ・「高校生のためのふるさと富山」や富山を英語で表現する英語教材の活用など、世界に向けてふるさと富山を発信する力を育成する教育の推進(再掲 2-④)
- ・とやまの高校生留学促進事業の実施などによる高校生の海外留学の支援(再掲 2-④)
- ・富山で生活する良さや働く良さなど、富山の魅力を学び、自らの生き方を考えさせるキャリア教育やライフプラン教育の推進(再掲 2-③)
- ・「総合的な学習の時間」や「総合的な探究の時間」における地域の課題発見・解決に取り組む学習の推進
- ・県が作成したふるさと学習教材「ふるさととやまの人物ものがたり」、「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」、「高校生のためのふるさと富山」のデジタル化
- ・ふるさと文学をモチーフとした中高生対象のコンクールの実施など、若い世代の新たな創作活動の推進

方向性②：家庭、地域、企業等におけるふるさと学習の振興

【主な施策】

- ・世界で最も美しい湾クラブへの加盟の承認を契機に、富山の豊かで美しく、かつ厳しさもある自然と風土に育まれたふるさとの歴史や産業、くらしの特徴などを学ぶ機会の充実
- ・ふるさとの優れた先人について、その志などを子どもたちや親が理解する機会の充実
- ・公民館等を拠点とする親と子が参加するふるさと学習や身近な自然体験活動の推進
- ・県民が連帯感を持ち、地域への誇りと愛着心を高め、地域の活性化を促す取組みの推進
- ・中学校における企業等と連携しての富山の産業を知り、ものづくりの楽しさを体感する機会の充実（再掲 2-③）
- ・県民生涯学習カレッジの講座などを通じた、ふるさと学習のリーダーなどの人材の発掘・養成とその活用
- ・県民生涯学習カレッジの「とやま学遊ネット」の学習講座や映像資料の充実による多様なふるさと学習の機会の提供
- ・ふるさと富山について学びを深める中で、心豊かで生きがいに満ちた新時代の「とやま」の創造に寄与する講座の実施

方向性③：高志の国文学館を拠点としたふるさと文学の振興

【主な施策】

- ・高志の国文学館における富山ゆかりの作品を小説等の純文学のみならず、映画や漫画、アニメなどで紹介する多彩な企画展の開催
- ・高志の国文学館の常設展示の活用や企画展の開催などによる、ふるさとの優れた先人を子どもたちに紹介する機会の充実
- ・アフレコチャレンジ教室などのサブカルチャー講座、県内の中学生を対象にした短歌講座、高校生による朗読会や書道パフォーマンスの開催など、高志の国文学館の創作の場としての活用の推進
- ・専門家が開催する「文芸サロン」を通じて次代を担う若者等の文芸に対する創作意欲や能力を高める活動の推進
- ・ふるさと文学に親しみ学ぶ機会、深く調べられる環境、発表や創作活動を活性化する異分野との交流の場を提供
- ・散逸する恐れのある富山県ゆかりの貴重な文学資料の収集・保管
- ・県民生涯学習カレッジ本部との連携によるふるさと文学を学ぶ機会の提供
- ・「読み聞かせ」や読書感想文講座の実施など、幼少期からふるさと文学に触れ親しむ機会の充実
- ・ふるさと文学をモチーフとした中高生対象のコンクールの実施など、若い世代の新たな創作活動の推進
- ・越中万葉・大伴家持の普及活動を行うため、県内の高校で、高校生のための令和万葉塾を開催
- ・文学館教育・啓発アウトリーチ事業として、著名な名作や富山ゆかりの作品のパネルを小・中・高向けに貸出
- ・高志の国文学館の企画展における学校との共同企画など、生徒が主体的にふるさと文学と触れ合う機会を提供
- ・大伴家持の生誕 1300 年を記念して創設した、大伴家持文学賞・高志の国詩歌賞の開催

方向性④：伝統文化の保存・継承

【主な施策】

- ・ふるさとの文化遺産を次世代につなぐ、国・県指定文化財の保存等の推進
- ・国・県指定文化財やその収蔵・保管施設等の防火・防犯・震災対策の充実強化
- ・高校の郷土芸能部の活動や、小・中学校における地域人材の協力を得て行う伝統文化や伝統芸能を学び、継承する活動の支援
- ・文化財ボランティアなど、伝統文化を保存・継承する人材の育成・確保
- ・県民が活用しやすい伝統文化の情報提供などによる伝統文化の魅力発信
- ・「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録に向けた活動の展開
- ・ユネスコ無形文化遺産に登録された「高岡御車山祭」・「魚津のタテモン行事」・「城端神明宮祭の曳山行事」の魅力情報を発信する取組みの促進
- ・ふるさとの文化遺産の魅力を国内外へ発信する取組みの促進
- ・体験学習会の開催など、埋蔵文化財に対する理解・学習の促進

基本方針 7 次世代を担う子どもの文化活動の推進

方向性①：子どもの様々な文化活動の充実と文化交流の推進

【主な施策】

- ・次世代を担う子どもたちに、質の高い音楽鑑賞の機会を創出するため、学校コンサート、室内楽フェスティバル、0歳から参加できるコンサート、ミュージアムコンサートの開催
- ・青少年美術展やとやまこども舞台芸術祭などの開催支援、県民芸術文化祭や越中アートフェスタなどへの子どもの参加促進など、子どもが行う文化活動の発表機会の拡充
- ・専門家（芸術文化アドバイザー）の学校や地域への派遣、優れた専門家を招いての指導・助言の実施などによる意欲的な芸術活動への働きかけと技術向上の取組みの促進
- ・とやま世界こども舞台芸術祭の開催やリンゲン世界こども演劇祭などの海外の国際大会への参加促進、海外研修派遣への支援など、子どもたちの文化交流、国際交流の機会の拡充
- ・優れた子どもの文化活動団体の活動状況の紹介など、子どもたちが校外や地域における文化活動に参加することへの理解の促進
- ・舞台芸術公演の web 配信など、新しいメディアを活用した次世代に向けた事業の実施

方向性②：学校における文化活動の充実

【主な施策】

- ・美術館等との連携による児童生徒が質の高い芸術に触れ、親しむ機会や創作活動の充実
- ・中学校総合文化祭や高等学校総合文化祭をはじめとする中学・高校の文化部生徒の発表や交流の機会を充実させ、文化活動の参加意欲の向上と裾野の拡大
- ・プロの演奏家による吹奏楽の技術指導の場を設け、演奏技術の向上に取り組むなど、感性と創造性を育む活動の推進
- ・芸術文化の全国大会に出場する生徒に対する支援や芸術・文化・科学等の様々な分野で優れた成果を収めた児童生徒への顕彰等により、文化活動に取り組む個人や団体の活動の推奨
- ・高校の郷土芸能部の活動や小・中学校における地域の人材の協力を得て行う伝統文化や伝統芸能を学び継承する活動の支援（再掲 6-④）
- ・文化芸術に関心を持つ高校生に著名な文化人の指導やグループ活動を通して創作技術や文化行事のマネジメント等を学び実践する機会の提供
- ・合理的で効率的な部活動の推進と休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究を行うとともに、実践研究で得られた成果と課題を県内 15 市町村で共有し、協議する検討委員会等の開催（再掲 2-⑤）
- ・県内の学校のスポーツ・文化教育等をサポートする「スポーツ・アート・キャリア教育応援企業」登録制度及び表彰制度の創設（再掲 7-①）

方向性③：文化施設を活用した若い世代の芸術文化活動の振興

【主な施策】

- ・富山県美術館において美術館を代表するコレクションと国内外の名品を展示する企画展や、デザインを多角的に紹介する企画展など、アートやデザインを感じられる魅力的な企画展の開催
- ・富山県美術館においてデザインの視点も取り入れながら県内外の一流の作家を講師としたワークショップの開催や作品展示をするなど「見る、創る、学ぶ」といった双方向の体験の機会を充実するとともに、小さいころから美術に興味を持ってもらえるような親子向けワークショップ、学校単位での団体鑑賞など教育普及活動の積極的な展開
- ・富山県美術館において学校教育との連携を強化するための教育企画展の開催や、教員を対象とした見学会の実施、環水公園のイベントとの連携など地域との連携
- ・富山県美術館において富山県美術展の新人賞を受賞した作家の展覧会や富山大学芸術文化学部の卒業制作展など、芸術文化の創造と普及、交流を図るための展覧会の開催
- ・富山県美術館においてデザイン性の高い遊具を配置した「オノマトペの屋上」や大型ディスプレイで豊富なポスターコレクションを自由に楽しむことができるタッチパネルなどアートとデザインに触れる多彩な機会の提供
- ・富山県利賀芸術公園において、世界各国の演劇人・俳優が舞台芸術を学ぶ「利賀演劇塾」の開催や、多国籍俳優による作品の創造・公演等の展開などの舞台芸術人材育成事業の推進
- ・富山県利賀芸術公園において県内の高校生が多国籍の俳優による訓練・稽古の見学や舞台作品の創造を行うなど、国際的な視野を育む文化活動の推進
- ・高志の国文学館の展示室等を活用した授業・見学等を行う小学校に対して支援を行うなど、学校教育における文化施設の利用と連携の取り組みの拡充
- ・子どもの美術館等観覧料の通年無料化の継続実施
- ・美術館等での一流芸術家によるワークショップなど普及事業の拡充
- ・県立文化施設等での若手工芸作家等の作品展示など発表機会の拡充
- ・県立文化ホールにおける子どもを対象とした芸術文化の鑑賞機会の提供
- ・利用しやすい施設となるよう県立文化施設の計画的な設備等の修繕の実施

基本方針 8 スポーツに親しむ環境づくりの推進

方向性①：県民がスポーツに親しむ環境づくり

【主な施策】

- ・幅広い年齢や競技レベルなどに対応した総合的なスポーツ大会の開催や、県民の健康づくりを推進するウォーキングイベント、富山マラソン、湾岸サイクリングなど、市町村やスポーツ関係団体との連携による、年齢や障害の有無に関わらず、気軽にスポーツ活動に参加できる機会づくりの推進
- ・総合型地域スポーツクラブ間の交流や連携の促進によるクラブの活性化
- ・子どもや若者、高齢者、障害者など幅広い県民が楽しめる文化スポーツ施設の整備等によるスポーツ環境の充実
- ・レベルの高い全国的、国際的大会やプロスポーツなど、「みるスポーツ」の機会づくりの推進

方向性②：学校等における体育・スポーツの充実

【主な施策】

- ・ 幼稚園・学校が家庭や地域と連携して取り組む「元気っ子育成計画」の実施や、「みんなでチャレンジ3015」の積極的な活用など、子どもたちの望ましい生活・運動習慣の定着や体力向上を図るとともに、スポーツとの多様な関わり方を重視した取組みの推進
- ・ 幼稚園教諭、保育士及び教員が運動遊びや学校体育活動の充実の必要性、系統性や連続性のある指導について理解を深め、その資質や指導力を高めるための研修会や専門的な技術指導力を持つ人材派遣による運動指導方法の研修等の開催
- ・ 専門的な指導力を有する地域のスポーツ人材活用による中学・高校の運動部活動の活性化
- ・ 幼稚園や学校における体力づくりの実践例や運動習慣等に関する積極的な情報提供による、学校や地域等の実態に応じた特色ある取組みの推進
- ・ 合理的で効率的な部活動の推進と休日の部活動の段階的な地域移行に向けた実践研究を行うとともに、実践研究で得られた成果と課題を県内 15 市町村で共有し、協議する検討委員会等の開催（再掲 2-⑤）
- ・ 県内の学校のスポーツ・文化教育等をサポートする「スポーツ・アート・キャリア教育応援企業」登録制度及び表彰制度の創設（再掲 7-①）

方向性③：全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成

【主な施策】

- ・ジュニア期から個人の特性や発育発達段階に応じた一貫指導体制の推進
- ・県民の注目度や関心の高い野球・サッカー・駅伝等の競技力の強化
- ・国民体育大会における競技への強化支援
- ・スーパーコーチやスポーツエキスパートの派遣による中・高校生のさらなる競技力の向上と運動部活動の一層の充実
- ・年代別日本代表等の海外大会参加への支援
- ・次世代を担う選手たちの活躍が期待させる競技への強化の推進
- ・富山県民スポーツ応援団募金の活用によるトップアスリートへの支援
- ・競技力向上の中核拠点となる県総合体育センター及び県西部体育センターの整備と機能の充実
- ・スーパートレーナーの活用やスタッフの資質向上によるスポーツ医・科学的サポートの充実
- ・優れた練習環境を活かした全国的・国際的スポーツ大会やオリンピックの事前合宿等の誘致

方向性④：スポーツを支える人材の育成と活用

【主な施策】

- ・運動部活動を指導するスポーツエキスパートなど、地域のスポーツ指導者の活用
- ・スーパーコーチによる学校や地域の指導者の資質や指導力の向上
- ・地域住民のスポーツニーズに応じた指導ができるスポーツ指導者や、地域のスポーツクラブの運営を支えるスタッフ等の人材確保と資質向上

方向性⑤：プロスポーツや企業と連携した地域の活性化

【主な施策】

- ・プロスポーツチームがホームゲーム等において実施する地域活性化事業に対する支援
- ・プロスポーツ選手による子ども向けスポーツ教室の開催
- ・福祉施設等の児童生徒を対象としたプロスポーツ観戦無料招待事業に対する支援

基本方針9 教育を通じた「ふるさと富山」の創生

方向性①：地域を支える人材の育成

【主な施策】

- ・様々な職業に関する知見を高め、望ましい職業観や勤労観等を身につけさせる幼児期から高校教育までの体系的・系統的なキャリア教育を推進し、主体的な職業選択の能力や将来の生き方をより深く考え行動する態度などの育成（再掲 2-③）
- ・「学び合い」や「体験」を重視した主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を進め、知識や技能を活用する力や知的好奇心、探究心を育み、課題発見・解決能力を育成する学習（プロジェクト学習（PBL）など）の推進（再掲 2-①）
- ・とやま科学オリンピックや探究科学科における探究的学習、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の成果の普及、国際科学技術コンテストへの参加促進など、科学に対する関心を高め、科学的才能や論理的思考力、課題発見・解決能力などを伸ばす教育の推進（再掲 2-①）
- ・「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」や地域での体験活動、ボランティア活動など、生活習慣や規範意識、主体的に社会へ参画する力、社会に貢献する意欲や態度、道徳性や社会性を育む教育の推進（再掲 2-③）
- ・「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」により、高校におけるインターンシップや企業経営者等による講演など、職業観や勤労観を育む職業教育プログラムの推進（再掲 2-③）
- ・普通学科において、大学等の専門機関で実施するアカデミック・インターンシップの実施（再掲 2-③）
- ・県内オンリーワン企業や産業観光地などを巡り、見学及び実技体験を行うことにより、県内企業の理解を深め、地域を支え、富山で活躍できる人材の育成（再掲 2-③）
- ・キャリア教育アドバイザー等の外部人材や就職支援教員を活用したキャリア教育の推進、県内求人の開拓、地元企業の情報提供や見学・体験等による高校生の地元企業への理解の促進（再掲 2-③）
- ・工業高校において、ものづくり学の推進や産業界との連携による技能講習、伝統工芸の継承、コンテスト等の充実による本県のものづくり産業を支える人材の育成（再掲 2-③）
- ・商業高校において、地域の資源を活用した商品開発や販売実習などの起業家精神を育む取組み、農業高校や水産系学科での6次産業化に向けた

- 取組み、職業資格の取得やコンクール等への挑戦など、自らが学ぶ意欲を持ち、実社会で実践する力やコミュニケーション能力を高める教育の充実による県内産業を支える人材の育成（再掲 2-③）
- ・地域の社会教育施設や企業等と学校との連携・協働を進め、多様性のあるチームによる学校の実現（再掲 1-①）
 - ・地域で活躍する方の講話、赤ちゃんとのふれあい体験などによる小・中学生への体系的なライフプラン教育の推進
 - ・富山で働き子育てする良さと自らの生き方に関する副教材の活用や赤ちゃんふれあい体験、産婦人科医等の特別授業などによる高校生へのライフプラン教育の推進
 - ・県内高等教育機関へのデータサイエンス教育の普及・推進、産学官連携によるデータの利活用（再掲 4-③）
 - ・県立大学におけるデジタル化の進展に対応した人材の育成、工学部学科の定員拡充、施設・設備の充実（再掲 4-③）
 - ・県立大学における専門看護師や保健師・助産師を養成するための大学院・専攻科の設置の検討（再掲 4-③）
 - ・県と高等教育機関との連携協力により、地域課題を解決できる人材の育成の推進（再掲 4-③）
 - ・専修学校等が行う社会のニーズに応じた実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援（再掲 5-③）
 - ・ふるさとの歴史、文化、自然を親子で学ぶ活動や地域ぐるみの活動の拠点である公民館への支援
 - ・地域人材の協力を得て行う体験活動や地域住民との交流活動などを行う放課後子ども教室や土曜学習等の推進（再掲 1-①）

方向性②：若者の県内定着の促進

【主な施策】

- ・教育水準の向上や学術研究機能の強化など、高等教育機関の魅力向上への支援（再掲 4-③）
- ・県内高等教育機関が相互に連携して実施する大学コンソーシアム富山の取組みの支援（再掲 4-③）
- ・県内高等教育機関や産業界、市町村等との連携協力により、雇用創出や新規学卒者の地元定着の推進（再掲 4-③）
- ・県と高等教育機関との連携協力により、地域課題を解決できる人材の育成や雇用の促進等地域活性化に向けた幅広い分野での地域貢献事業を推進（再掲 4-③）
- ・専修学校等が行う社会のニーズに対応した実践的な職業教育や専門的な技術教育への支援（再掲 5-③）
- ・県内企業と県の出捐による基金を創設し、県内企業に U ターン就職する理工系・薬学系の大学生等の奨学金返還に対して支援し、若者の県内定着の促進
- ・女性の雇用が多い企業等の誘致、女性就業支援センターによる女性の県内就職の促進や多様な働き方を支援することにより、若い女性の県内定着の推進
- ・煌めく女性リーダー塾、ロールモデルとなる先輩女性と女子学生との交流会などの開催（再掲 5-③）
- ・男性の家事・育児参画を促進するとともに、結婚や子育てに前向きになれる社会機運の醸成
- ・中学校における企業等と連携しての富山の産業を知り、ものづくりの楽しさを体感する機会の充実（再掲 2-③）
- ・富山で生活する良さや働く良さなど、富山の魅力を学び、自らの生き方を考えさせるキャリア教育やライフプラン教育の充実（再掲 2-③）
- ・ふるさとの優れた先人について、その志などを子どもたちや親が理解する機会の充実（再掲 6-②）
- ・「社会へ羽ばたく『17 歳の挑戦』」により、高校におけるインターンシップや企業経営者等による講演など、職業観や勤労観を育む職業教育プログラムの推進（再掲 2-③）
- ・普通学科において、大学等の専門機関で実施するアカデミック・インターンシップの実施（再掲 2-③）
- ・県内オンリーワン企業や産業観光地などを巡り、見学及び実技体験を行うことにより、県内企業理解を深め、地域を支え、富山で活躍できる人材の育成（再掲 2-③）

方向性③：富山ならではの教育の推進

【主な施策】

- ・「学び合い」や「体験」を重視した主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を進め、知識や技能を活用する力や知的好奇心、探究心を育み、課題発見・解決能力を育成する学習（プロジェクト学習（PBL）など）の推進（再掲 2-①）
- ・CAN-DOリストに基づいた中学校、高校での英語による授業の実施や高校における英語プレゼンテーションコンテストや英語ディベート大会、外部検定試験などの活用によるグローバルな時代に対応した英語コミュニケーション能力の向上（再掲 2-④）
- ・とやまの高校生留学促進事業など、高校生の海外留学の支援（再掲 2-④）
- ・高校での生徒海外派遣研修を支援し、国際性を身につけ、将来の富山を支える人材の育成（再掲 2-④）
- ・「国際バカロレア」導入について現状を把握し、対応の検討（再掲 2-④）
- ・「社会へ羽ばたく『17歳の挑戦』」により高校におけるインターンシップや企業経営者等による講演など、職業観や勤労観を育む職業教育プログラムの推進（再掲 2-③）
- ・「人生100年時代」の生き方を大きな視点で考える「生き方講座」や自らの人生設計を立てるきっかけとなる「特別講座」の実施
- ・小・中学校において、県が作成した「ふるさととやまの人物ものがたり」や市町村が作成した郷土学習教材を活用した、先人の偉業や夢、志などを学ぶ教育の推進（再掲 6-①）
- ・県立高校において、県が作成した補助教材「高校生のためのふるさと富山」を用いた郷土史・日本史学習の実施（再掲 6-①）
- ・県が作成したふるさと学習教材「ふるさととやまの人物ものがたり」「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」「高校生のためのふるさと富山」のデジタル化（再掲 6-①）
- ・とやま科学オリンピックや探究科学科における探究的学習、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の成果の普及、国際科学技術コンテストへの参加促進など、科学に対する関心を高め、科学的才能や論理的思考力、課題発見・解決能力などを伸ばす教育の推進（再掲 2-①）
- ・「ふるさととやまの自然・科学ものがたり」を活用し、富山の自然等を通して科学的な見方や考え方を育む教育の推進（再掲 2-①）